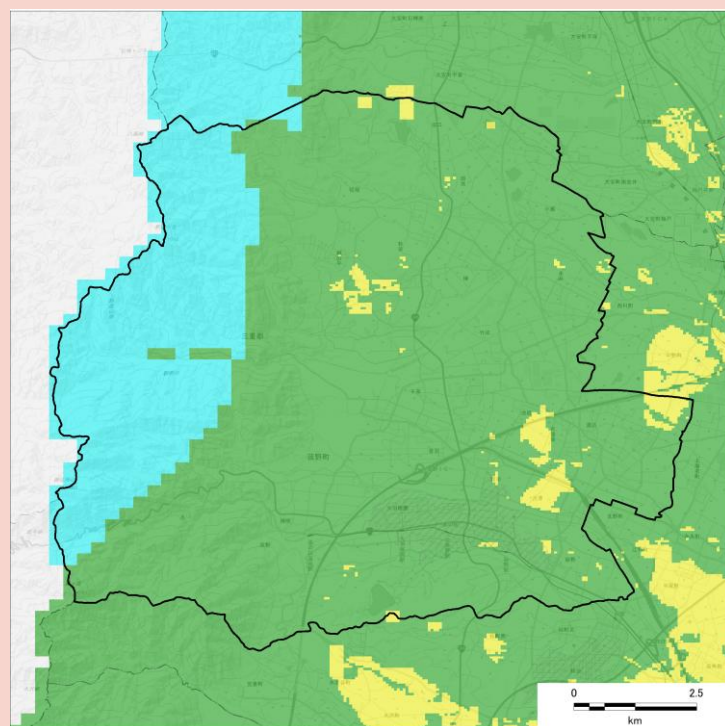
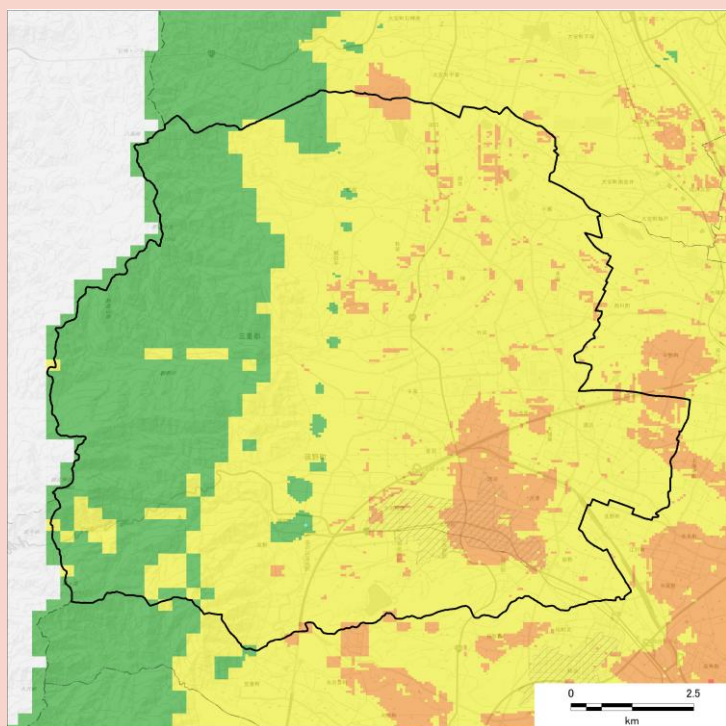


1. ハザード評価

(1) 地震動

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス



震度階級

- 震度7
- 震度6強
- 震度6弱
- 震度5強
- 震度5弱
- 震度4
- 震度3以下

<震度別面積割合>

(参考) 総面積 = 107.0km²

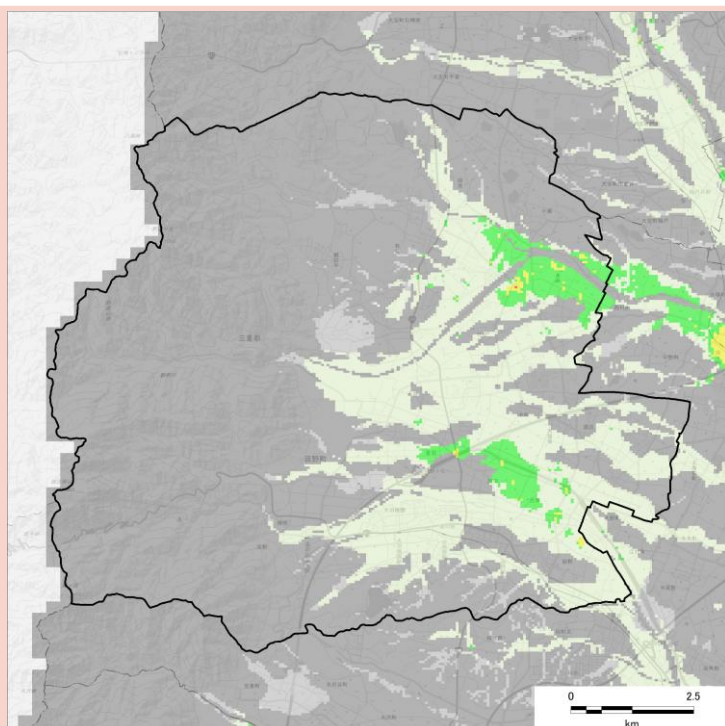
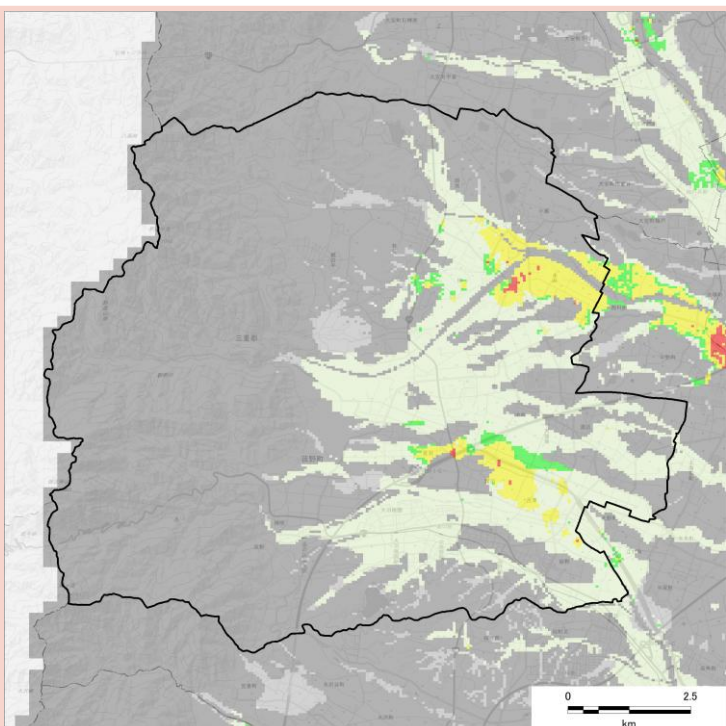
震度階級	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km ²)	割合	面積 (km ²)	割合
7	0.0	0%	0.0	0%
6強	9.1	9%	0.0	0%
6弱	68.7	64%	2.5	2%
5強	29.2	27%	83.6	78%
5弱	0.0	0%	21.0	20%

※震度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

(2) 液状化

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス



液状化危険度

- 極めて高い
- 高い
- 低い
- 極めて低い
- 計算対象層なし
- 計算対象外

<液状化危険度別面積割合>

(参考) 総面積 = 107.0km²

液状化危険度	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km ²)	割合	面積 (km ²)	割合
極めて高い	0.1	1%未満	0.0	0%
高い	3.5	3%	0.2	1%未満
低い	0.9	1%未満	3.4	3%
極めて低い	22.2	21%	23.0	22%
計算対象層なし 計算対象外	80.3	75%	80.3	75%

※液状化危険度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

2. リスク評価

(1) 人的被害

※季節・時間帯：冬・深夜

(2) 建物被害

※季節・時間帯：冬・夕方

(3) 火災被害

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
死者数（人）	約60	-
うち建物倒壊等	約60	-
うち津波	-	-
うち急傾斜地崩壊等	-	-
うち火災	-	-
うちブロック塀 ・自動販売機転倒 および屋外落下物	-	-
重傷者数（人）	約100	-
軽傷者数（人）	約700	約80
建物倒壊等による 自力脱出困難者数（人）	約300	約10
津波被害による 要救助者数（人）	-	-
津波被害による 要搜索者数（人）	-	-

定量評価項目	L2	L1
全壊・焼失棟数（棟）	約1,500	約40
うち揺れ	約1,400	約40
うち液状化	-	-
うち津波	-	-
うち急傾斜地	-	-
うち火災	約100	-
半壊棟数（棟）	約3,400	約400
うち揺れ	約3,400	約400
うち液状化	約10	-
うち津波	-	-
うち急傾斜地	約10	-
ブロック塀等の 転倒数（件）	約300	約10
自動販売機の 転倒数（件）	約10	-
屋外落下物の 発生数（件）	約100	-

定量評価項目	L2	L1
炎上出火件数（件）	-	-
残火災件数（件）	-	-
津波火災発生件数（件）	-	-

概観（理論上最大クラス）

【ハザード評価】

県内の沿岸市町と比べて地震動は小さいものの、広い範囲で震度6弱以上となり、川沿いを中心に液状化が発生する可能性があります。

【リスク評価】

理論上最大クラスでは、揺れによる建物の全壊や火災による焼失被害が発生し、古い家屋を中心に建物の倒壊等による死傷者や自力脱出困難者が発生します。

※「-」：わずか（5未満）

※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。